

おかげ様で創刊 400 号を迎えました

ラベルニュース

東京都ラベル印刷協同組合
☎111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4**No400**平成 30 年 5 月号
編集:広報・情報システム委員会
TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

全日本シール印刷協同組合連合会

第60回年次大会 IGAS 大会を開催 7月27日東京ビックサイトにて

全日本シール印刷協同組合連合会(田中祐会長)主催の、「第六〇回年次大会 IGAS 大会」は、七月二十七日(金)に、東京ビックサイトに於いて開催されます。今回から各協組の担当ではなく、連合会が担当しての第一回目の大会となり、七月二十六日から三十一日の五日間開催される「IGAS 2018」の会期中に開かれることになりました。開催概要は次の通り。

■日時 平成三十年七月二十七日(金) 受付開始午後一時半

■会場 東京ビックサイト 東展示場一階レセプション

ンホール 江東区有明三の十一の一

■会費 一名・一万六千円(一律)

■内容 記念式典(表彰式・大会宣言)午後一時半より三時 午後三時より午後五時まで開催中の「IGAS 2018」を見学

■懇親会 午後五時半より七時半(お笑い芸人ライブ)

■第二十八回シールラベルコンテスト 七月二十六日から三十一日までの「IGAS 2018」の期間中作品が展示されます。(初日のみ午前十一時より五時まで展示)

■参加申し込み すでに送付済みの参加申込書で、六月十五日(金)までに組合まで FAXにてお申込み下さい。

■IGAS 2018 IGAS は出展社二八五社、二六〇五小間の規模で、印刷会社の顧客であるブランドオーナーの視点に立った印刷及びクロスメディアにおけるテクノロジーとソリューションを発信することとなっている。

今回は IGAS 2018 のテーマである『Venture Next』(変わる印刷、変える未来)に照らし、関東三協組の若手メンバーと協賛会の皆さんを軸とした実行委員会を軸とした実行委員会を組織し、搭連合会が直接的に運営する、新たなスタイルでの第一回目の大会となります。

年次大会は傘下の九協同組合の組合員、会友、協賛会員が一堂に会することで、それぞれが知己を深めると同時に新たな出会いが生まれ、諸情報の交換などを通じて交流、親睦を深められる、大変貴重な場であると考えており、私は感謝の気持ちを持ってお迎えさせていただきます。



田中祐会長挨拶(要旨)

リンテック入社式で西尾社長が お客様第一とCSRの精神を訴える

リンテック(西尾弘之社長)では、四月二日に今年度採用の新入社員(本社採用四十人、工場採用三十六人計七十六人)の入社式を行い、西尾社長が次のようなメッセージを贈りました。

最終年度の目標達成に向けて鍵となる今年度を“イノベーション”と位置づけた。皆さんには高いモチベーションを持って、一日も早く若い力を注いでもらいたい。会社は持続的成長を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献していくか

二〇一九年度を最終年度とする三か年中期経営計画

なればならない。当社グループとしても、国連が掲

画「LIP(LINTEC INNOVATION PLAN)」

げる持続可能な開発目標である「SDGs」を経営に組み

〇一九の二年目に入った。初年度の業績は、残念ながら当初目標にわずかに届かない見通しだ。

入れ、事業活動を通じて積極的に社会的課題の解決に寄与していきたいと考えている。



入社式であいさつする西尾社長

皆さんはそのことを十分念頭に置きながら、まずはどんな仕事であっても、情熱と責任感を持って成し遂げていってほしい。一生懸命、誠意を持って取り組んでいけば、たとえ苦勞することがあっても、その仕事を成し遂げた時の達成感は大きく、仕事が楽しくなってくる。

IoTの普及やAIの進化、あるいはそれに付随するさまざまな技術や製品の登場など、今はまさに変化の時代といえる。一人でしつかり時間をかけて、完璧を目指すという姿勢はもろろん大事だが、時には早い段階で先輩・上司などに相談しながら、より迅速に問題解決につなげていくという姿勢も必要。常にスピードを意識して、フットワーク軽く日々の仕事に取り組んでほしい。

お客様第一の精神とCSRの精神。この二つを皆さんには持ち続けてほしい。お客様が当社に対して、あるいはその製品やサービスに対して価値を見出し、くれることで、当社は存続することができ、最終的に皆さんやその家族の幸せにもつながる。そのことを決して忘れてはならない。そして同時に、自分の行動が社会人として、一人の人間として正しいかどうかを常に考え、お客様や周囲の人への感謝と敬いの気持ちを持ち続けてほしいと思

「日本のラベル市場 二〇一八」を発売

ラベル新聞社

ラベル新聞社は今年も「日本のラベル市場二〇一八」を発売しました。

本書は、継続的な独自調査によって得られた膨大な情報を多角的な視点から分析。詳細データを多数掲載することで、国内外市場の現状と将来を予測している。

掲載内容は①ラベル市場の動向②ラベル需要分野の動向③ラベル印刷会社の動向④主要ラベル印刷会社の概要⑤印刷用粘着紙の動向⑥ラベル印刷機の動向⑦ラベル用周辺資材の動向⑧ラベル用周辺機材の動向、の八章で構成。

体裁はA四上製本一八〇ページ。販売価格は三万二千四百円(税込み・送料別)。

書籍の問い合わせは、ラベル新聞社・販売部(☎三八六・六五七七)まで。部数に限りがあるため、お早めのご予約をとっている。

遺産相続には指定相続分と法定相続分がある

■遺産相続の種類と流れ

遺産相続の相続分には、被相続人が遺言によって指定できる「指定相続分」と

遺言書がない場合に用いる民法で定められた「法定相続分」があります。遺言書の有無によって、その後の手続の流れも異なります。

■遺言書がある場合の指定相続分とは

被相続人は、生前遺言書を作成することによって財産の相続分を自由に決めることができます。この遺言書による相続分を指定相続分といいます。相続人には最低限得ることのできる「遺留分」が民法で定められています。

指定相続分・被相続人は、

財産を譲る相続人や相続人毎の相続分の割合を遺言書に記載することで、財産分与の方法を指定できます。

この遺言により指定される相続分を指定相続分といいます。被相続人の意思が尊重される一方で、特定の

人にだけ有利になったり、法定相続人が遺産を相続できないという事態が生じるケースもあります。

法定相続分・被相続人による指定相続分以外に、民法では法定相続人が相続する遺産の割合を定めています。これを法定相続分とい

■遺言書がある場合とない場合にするとは

被相続人が亡くなると同時に遺産相続がスタートしますが、遺言書がある場合とない場合とは、その後

の遺産相続手続の流れが変わります。

■ある場合には検認を

遺言書を発見したら、相続人は家庭裁判所に「検認」の申立てを行います。検認とは、遺言書が存在すること及びその遺言書が本当に被相続人によって作成されたものであることを確認す

る手続です。検認をせずに遺言を執行すると五万円以下の過料が科せられるので注意しましょう。

■なければ相続人全員による協議を

遺言がない場合には相続人全員で遺産分割協議を行います。原則として民法で定められた法定相続分を目安に分割の話し合いを進めていきますが、相続人全員の合意が得られなければ協議は不成立に終わります。

相続人の中に未成年や認知症の人がいる場合には、代理人が必要で

■遺産分割協議が揉めたら調停・審判へ

遺産分割協議で話し合いが揉めたり欠席者がいたりして相続人全員の合意が得られない場合には、「遺産分割調停」を家庭裁判所に申し立てることになります。

さらに、調停でも話がまとまらない場合には審判に移行し、裁判官による判断を仰ぎます。

■遺留分とは

被相続人は、遺言書で相続人や相続分を自由に決めることができます。しかし、特定の相続人のみが利益を受け、他の相続人に不公平が生じる可能性があります。このような事態を防ぐために、民法では「遺留分」という制度を定めています。

被相続人が遺言書で相続人や相続分を指定していても、他の相続人には最低限得られる財産が保障されています。この取り分のことを遺留分といいます。これは相続人の不利益を回避するために法律で定められた制度です。

遺留分が認められる法定相続人は、被相続人の配偶者および直系尊属である子と孫、直系尊属である父母、祖父母のみとされています。たとえ法定相続人でも兄弟姉妹には遺留分は認められていないため注意が必要です。

《参考資料》

<https://www.souzokuhirob-a.com/wakekata/remains-of-the-will.html>

中小企業庁二〇一八年版に業界から三社が

「ほぼたく中小企業・小規模事業者三〇〇社」

中小企業庁は、ITサー

ビス導入や経営資源の有効活用等による生産性向上、

積極的な海外展開やインバウンド需要の取込み、多様な人材活用や円滑な事業承

継など、様々な分野で活躍している中小企業・小規模事業者を二〇一八年「ほぼ

たく中小企業・小規模事業者三〇〇社」として選定したが、この中に当業界から

三社が選出されています。

■ ㈱佐々木印刷

所在地 岩手県北上市口

内町堰根 九一・四 代表者

代表取締役社長 佐々木

信雄 設立 一九八〇年資

本金 千五百 万円 従業員

数 二〇人

ポイント・地球環境にやさしい製品づくりを経営理念とし、台紙不要のラベ

ル・シールを開発、主力製品に成長している。

① デジタル印刷機導入に

実現し、付加価値向上

② 企業内ゼロエミッション

の実現と太陽光発電による

経費節減、業務効率化

③ 地域企業の資源を活用し、被災企業、福祉作業所連携

による新たなビジネスモデルの確立

会社概要・一九八〇年、ラ

ベル・シール印刷業を創業

し、順調に成長してきた。

しかし、海外の格安製品に

対抗するため一九九一年か

ら台紙不要シールの開発に

着手。一九九八年に特許

出願するとともに商品化し、

全国自治体のごみ処理に使

用される。また、スーパ

等で使用するラベラーで貼

付する製品を開発し大手メ

ーカーの商品ラベルに使用

されるほか、安全・安心な

「糊」を使用する製品も開

発し、「江刺リンゴ」など食

る高付加価値化

開発製品の高付加価値

化を図るため、二〇一五年

二月にデジタル印刷機を

導入。可変情報機能を付加

することで多品種、少量受

注に対応できることとなり、

大手企業等からの新たな受

注につながった。また、「連

ラベル」は、二〇一四年か

ら福島原発の復旧作業に

従事する作業員の防災服の

識別表示に採用されている。

さらに、小ロット生産が可

能なことから、自社商品の

開発に取り組むことが可能

になり、次の項で述べる新

たなビジネスモデルの実施

により、より高付加価値化

が実現するものである。

同社工場で発生する紙端材廃棄物を燃料とする暖房用ボイラーを導入することで、廃棄物処理費と燃料費を年間七〇〇万円節減。

さらに、太陽光発電用パネル四〇キロを設置し、年間一五〇万円売電。また社内

灯などすべてをLEDに切り替える等、省エネ効果は年間八五〇万円となり、経

常利益向上に繋がっている。

被災企業、福祉作業所との連携による新たなビジネスモデル

同社は、これまでは自社製品を持たず、商社からの

受注生産が主であった。し

かし、独自市場を開拓する

ため、二〇一六年岩手国体

でのマスキングテープ「い

わてわんこテープ」の開発

販売を契機に、ラグビーワ

ールドカップ二〇一九釜

石開催に向けた「フェイス

シール」の開発を行い、既

に、サンプルによる実証試

験まで終了している。これ

らのデザインとパッケージ

は地元の福祉作業所が担当

し、販売は沿岸地域の被災

企業が行うなど、地域企業

の連携による新たな事業に

取り組んでいる。

■久保井インキ㈱

所在地 大阪府大阪市東成区東今里二丁目 一
一三 代表者・代表取締役社長 久保井伸輔 設立 一

九五一年 資本金 三千万円 従業員数 三十一人

ポイント・UVインキ・特殊インキでメディア・印刷の進化を支え、新たな価値と喜びを創造する

① ASEAN市場への販路拡大のため、ローカルマーケットへ直接輸出

② 高度な技術・対応力に裏づけされた UVインキ・特殊インキの国内シェアはトップクラス

③ 経営者のリーダーシップによる製造現場の環境整備と法令遵守の徹底

会社概要・同社は、印刷

用インキの製造・販売を行っている。国内シールラベル印刷用インキでは、二%の市場シェアを持っており、国内第 2 位の規模である。また、機能性インキでは、高度な偽造防止技術を持ち、国内の住民票用紙や印鑑証明書に使用

されるカラーコピー防止等の偽造防止インキでは国内 100%の市場シェアを獲得している。その他、示温インキや香料インキ等の製造販売も行っている企業である。

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

タイをハブとして ASEAN地域への販路拡大を推進

過去にも印刷機メーカーの紹介等で輸出実績はあるものの、台湾・中国以外では、その後の市場開拓ができていなかった。今後の国内市場の縮小化を鑑み、現在、同社が本格的に海外展開を進めている中で、

2015年に中小機構の支援

(FS 現地調査と 外国語版ウェブサイト構築支援)

を受け、現地ローカル市場への輸出を開始した。現在、数社への輸出が軌道に乗り、タイをハブとして ASEAN地域への販路拡大も推進している。英語版ウェブサイトも、海外営業ツールとして活用している。

ンキで国内シェアはトップクラス
国内シールラベル印刷用 UVインキでは、第二位のマーケットシェアを持っている。また、示温インキや香料インキといった特殊インキのうち、特に高度な偽造防止技術によるインキは住民票用紙・印鑑証明書等に使用され、国内シェアは百分となつている。同社の強みは「絶対的な高品質」と「少量多品種緊急対応」である。製品を顧客毎に、場合によっては印刷機毎にカスタマイズする対応力・機動力により、顧客からの評価を得ている。

製造現場の環境改善で「世界一キレイなインキ工場」を目指す

経営者の強力なリーダーシップの下、積極的な海外展開も図り、売上を伸ばしている。かつては「3K」工場を、「世界一キレイなインキ工場」として目指し、5Sを徹底し、環境にも配慮した就業環境を構築している。また、社員には、社内の決まり事を全社員がし

っかり守る風土を作るためにも、法令遵守・道徳的マナーを徹底しており、職場環境を「安全・安心・快適」に保っている。

■丸金印刷㈱

所在地 千葉県千葉市花見川区幕張町二、七六九八
一 代表者 代表取締役社長 川合榮子 設立 一九一四年 資本金 八千万円 従業員数 一八〇人

ポイント・医薬品パッケージに特化し、最新鋭の設備と熟練した技術で高品質の製品を提供

① 女性が働きやすい職場環境に注力し、社員の仕事と家庭の両立や地域社会の子育て支援に取り組んでいる。

② デジタル検査と熟練検査員による目視検査を工程毎に徹底し、高レベルな品質管理を実現している。

③ 医薬品・化粧品分野に特化し、高品質な製品を企画・開発し、取引先に高い評価を得ている。

※同社は現在組合員ではありません。

